



MYOKOネクススキャンプ2025

実施期間：令和7年7月 5日(土)～7月6日(日) 事前キャンプ
7月27日(日)～8月3日(日) 本キャンプ

目的・趣旨

- 参加者の「主体性」を育成する。
本事業における「主体性」とは、以下の2点としてとらえる。
 - ・共通の目標に向かって、一人一人が考え行動する。
 - ・合意形成を図る中で、互いに尊重し合い仲間と協働する。
- 参加者の量的・質的変容等を調査分析し、その効果について普及する。
- 様々な課題を抱える子供たちやその周りの子供たちへの効果的な支援の在り方を検証し、学校現場へ発信する。

事業概要

【参加者数】 6名（小学校5年生～中学校2年生）

【実施内容】

ステージ・期日	主な活動内容	活動のねらい
出合いのステージ 7月5日(土)～7月6日(日)	○開会式・全体会 ・キャンプのねらい ・本キャンプの活動内容や持ち物・装備 ・安全にキャンプを行うために注意事項 ・ICT機器の利用の仕方 ○テント設営・野外炊事 ○テント泊 ○スタッフとの事前面談	・初めて会ったメンバーで活動に取り組む。 また、活動内容等の話を聞く中で、長期キャンプへの意欲を高める。
創造のステージ 7月27日(日)～7月28日(月)	○行動計画作成(自然の家) ○野外炊事 ○テント泊	・行動計画を作成したり準備をしたりする活動を通して、メンバーのことを知り、協働し合おうとする。
つながりのステージ 7月29日(火)～7月30日(水)	○歩き(自然の家から宿泊場所) ○歩き(宿泊場所から世ヶ峰) ○野外炊事 ○テント泊	・持ち物を運んだり、自然の家とは異なる場所で活動したりすることにより、メンバーのことを考えながら協働しようとする。
挑戦のステージ 7月31日(木)～8月1日(金)	○火打山登山 ○ヒュッテ泊 ○妙高山登山	・困難な状況であっても、グループの仲間と声を掛け合い、助け合いながら活動する。
未来につなげるステージ 8月2日(土)～8月3日(日)	○後片付け ○振り返り(個人・グループ) ○ゴールパーティー企画・実施 ○閉会式	・これまでの活動を振り返り、仲間に感謝の気持ちをもつとともに、これからの自分について考える。

事業のポイント

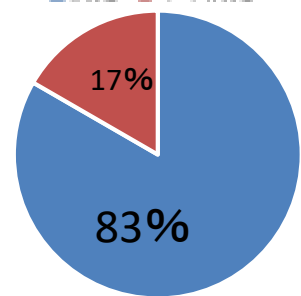
- 本キャンプ全行程を5つのステージ（事前キャンプ1ステージ）に分け、その中で体験が各ステージの学びに活かされるようにプログラムを構成し、参加者が自分の成長を実感できるようにする。
- 自分たちで移動のルートや宿泊地を話し合いで決定していく機会を設けることで、個人、グループの主体性を育てる機会を設定する。
- 1グループにキャンプカウンセラーを3名（自然の家職員1名、学生スタッフ2名）配置し、健康管理・安全管理・記録にあたる。

成果

- 参加者の事業全体を通した満足度は、「満足」「やや満足」を合わせて100%となった。
- ビッグチャレンジとも言える火打山・妙高山の縦走登山をはじめ、移動ルートや宿泊地を仲間と作り上げることで達成感や充実感を得たことが参加者の自信につながり、仲間と共に協力してキャンプを行ったことが自己の主体性に対する意識の向上につながった。

参加者満足度

■ 満足 ■ やや満足



事業の様子



妙高山登頂



移動ルート、宿泊地を決定します



リヤカーを活用しました



みんなで一致団結

参加者の声

- 自分たちで決めることがとても難しいと思ったけどその分自由に決められることの楽しさを知りました。
- みんなが納得しあいながら話し合いをすることは時間がかかるけれど、人の意見を聞いたり、自分の意見を改善したりすることができた。
- 火打山、妙高山の百名山2つを登れたことが心に残った。

課題

- 宿泊地の決定が前日のため、確保が難しい。
- 妙高を活かしたアクティビティーの実施ができなかった。